

## 別記様式

		担当課	学務課
会議の名称	第2回 吹上小学校 学校運営協議会		
開催日	令和7年11月28日(金)		
開催時間	午後1時15分 開会・午後3時50分 閉会		
開催場所	吹上小学校 コスモスペース		
議長(委員長・会長) 氏名	会長 満井 康江		
出席者(委員)氏名 (出席者数)	(会長及び委員10名出席) 満井 康江 横田 希恵子 青木 克巳 唐木田 康雄 清水 登 仲間 可織 吉田 祐子 野本 昌宏 木村 真輔 伊東 直弘		
欠席者(委員) 氏名(欠席者数)	(欠席委員0名)		
傍聴の可否 (傍聴者数)	可(0名)		
会議の内容	(議題) (1) 会長・副会長の選出 (2) 学校評価について (3) 熟議「吹っ子の課題～授業参観を終えて～」		
	(決定事項など) (1) 会長・副会長の選出 (2) 学校評価について (3) 熟議「吹っ子の課題～授業参観を終えて～」 <主な意見等> ①学校評価について 【学校案】 ・昨年度比で約3分の2に項目を削減。努力点として「学ぶ楽しさ」「心の通う挨拶」「きれいな学校」「業務改善」を追加した。法令で必須の実施を前提に、重複・業務としての必須事項・学校としての範疇外と思われる項目を分類、整理し、項目を一本化するなど、より重点化したものを目指した。 削除する項目案：外遊び、家庭学習の手立て、道徳資料整理、環境教育（太陽光パネル関連）、人権教育関連項目など 【協議によって示された方向性】 ・評価項目は全面的に見直しを行うべきである。重点化によって削った項目が、教員の意識付けの観点から必要であり、項目を削除した場合でも、その項目が示す考え方や取組は継続的に実施すべきという趣旨を明確に伝える必要がある。また、項目がないからやらなくてよい、という誤解を防ぐ為にも残す部分も必要である。 ・委員からの指摘を受け、項目を完全に削除するリスクを回避する為、必要な分野（人権教育・環境教育等）については、少なくとも1項目でも残す方向で修正する。 ・委員からの多数の意見を反映する必要があり、その場で承認するのは困難な為、今回の会議では学校評価を承認せず、委員の意見を反映した修正案を後日書面で共有し、それをもって承認プロセスを進める。 ・保護者アンケートについても、削除した項目を復活させ、保護者、地域に協力してもらっている具体的な取組を補足説明で加える方向で検討する。 ・学校評価への意見を返送してもらう方法について、委員に手間をかけない形（例：返信用封筒の同封など）を検討する。 ②授業参観について ・各委員から5校時の授業を見学しての感想をもらう。		
	1 次第 2 学校運営協議会名簿 3 令和7年度吹上小学校 学校評価 4 働き方改革の現状と課題について 5 感謝集会の案内 6 文科省アンケート		